

Orora Limited オーストラリア・ニュージーランド 板紙パッケージ部門買収について

October 2019

日本製紙株式会社



本件の概要

日本製紙とOrora Limitedは

日本製紙がOrora Limitedの 豪州・NZ事業の板紙パッケージ部門を 譲り受けることに合意



NIPPON PAPER INDUSTRIES



本件の狙い

- 成長する豪州・NZ市場での事業拡大
 - 戦略投資の継続により伸びる青果・食肉・消費財市場の積極取り込み
- AP社・買収事業のインテグレーションによるオセアニア事業の効率化
 - 円滑なPMIによる早期シナジーの発現(人材、調達、 物流)
- アジア・オセアニア地域でのパッケージ事業拡大
 - 買収事業の人材・ノウハウを活用

本件の取引内容

契約相手先: Orora Limited (以下『オローラ社』)

譲受価格: 1,720百万豪ドル (約1,243億円)

譲受対象: オローラ社の持つ豪州・NZ板紙パッケージ部門

(板紙、段ボール、紙器の製造販売)

対象資産の 売上高: 1,426百万豪ドル (約1,031億円)

事業規模 営業利益: 91百万豪ドル (約66億円)

(19年6月期): 従業員数: 約3,300名

注. 対象会社の会計期間は7月~6月のため6月期の数値を表記

本件にかかわる資金調達

財務健全性の維持を考慮した資金調達を行う方針

①ブリッジローン

売買契約締結に際して、みずほ銀行よりブリッジローンを調達

②パーマネント化

- ・ 3カ月~1年以内を目途に、長期化を完了
 - ➤ 金融機関からの借入、社債発行、およびハイブリッドファイナンス等によるブリッジローンからの借換を検討
- ・ 新株発行を伴う資金調達(エクイティファイナンス)については 実施予定なし

日本製紙グループの成長分野

当社では、パッケージ、家庭紙・ヘルスケア、ケミカル、エネルギー、 木材の5つの事業を成長分野と位置付け強化している

セグメント別

売上高構成比

6% 3%

木材・建材・ 土木建設関連事業



エネルギー事業



生活関連事業

19%

パッケージ

家庭紙・ヘルスケア ケミカル

2018年度 ケミカル







69%

紙・板紙事業

家庭紙・ヘルスケア





生活関連事業(パッケージ)

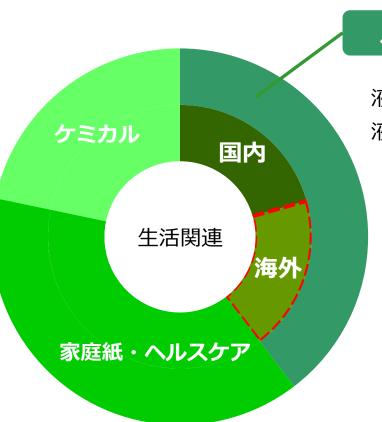
パッケージ事業については、紙という素材に対する独自の技術と ノウハウをもとに、国内外で幅広く展開している



液体用紙容器



液体用紙容器(口栓付き)



パッケージ

液体用紙容器、紙容器、 液体用紙容器原紙



紙容器

パッケージ事業の海外展開①

事業買収や提携により、積極的に海外でのパッケージ事業展開を進めている



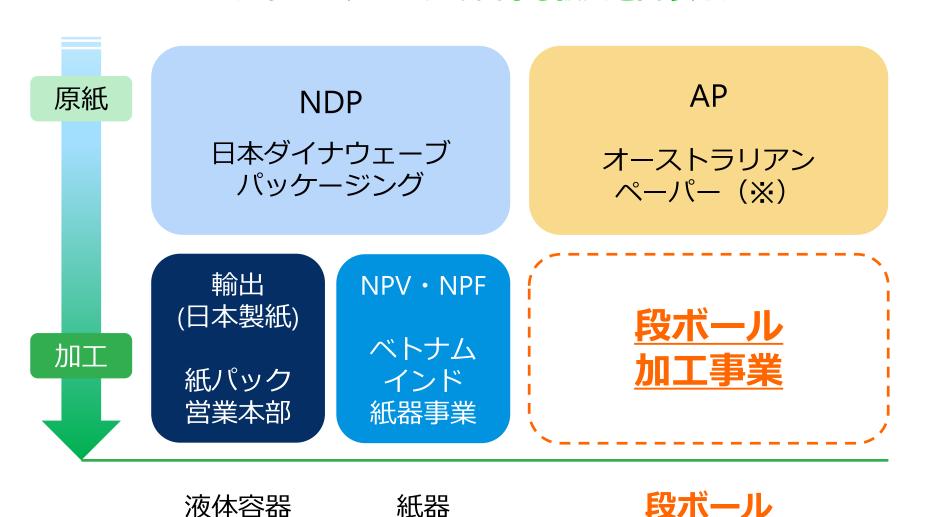
日本ダイナウェーブ パッケージング

ニッポンペーパー ベト・ホア・ミー

ニッポンペーパー フードパック

パッケージ事業の海外展開②

需要の底堅い段ボール市場において、段ボール加工事業へ展開する事で バリューチェーンの更なる拡大を図りたい



(※) AP社段ボール原紙事業は紙・板紙事業に含む

Orora Limitedについて

ORORA Limited



豪州・北米を中心に世界規模で事業展開する豪州上場のパッケージ企業

売上高

4,761百万豪ドル (3,442億円) - 19年6月期

従業員数

7,200人 (43生產拠点/96物流・調達拠点/7ヵ国)

総資産

3,918百万豪ドル (2,832億円) - 19年6月期



(豪州上場/本社メルボルン)

豪州/NZ事業:

売上高: 2,150百万豪ドル(1,554億円)

製紙・パッケージ事業 (買収対象事業)

飲料ボトル

北米事業:

売上高: 2,611百万豪ドル(1,887億円)

パッケージ部門

商業印刷部門

製紙・パッケージ事業の概要



製紙・リサイクル部門 (豪州シェア 第2位)

- ・1工場・1製紙マシン
- ・最新鋭の再生段ボール原紙設備(ライナー・中芯)を保有
- ・独自の古紙回収システム



段ボール加工部門 (豪州シェア 第2位、NZシェア第1位)

- ・11製造拠点(豪州8、NZ3)
- ・段ボール製造(農産物、飲料、食肉、消費財)
- ・移動式製函機の提供・メンテナンス
- ・パッケージ資材、業務資材の調達販売

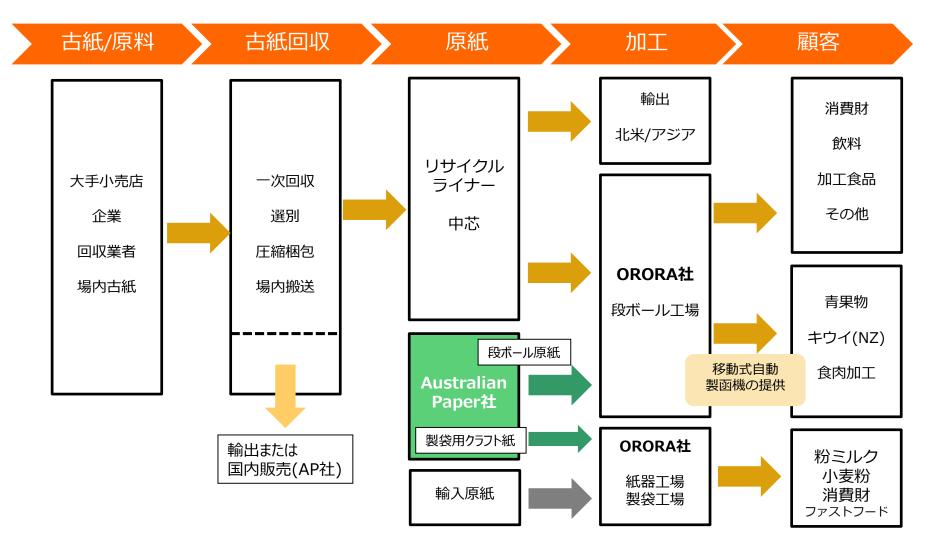


紙器・製袋部門 (豪州シェア第1位、NZシェア第1位)

- ・紙器部門:5製造拠点(豪州3、NZ2)
- ・一般紙器の加工製造販売 (食品包装、消費財、ファストフード)
- ・製袋部門:2製造拠点(豪州)
- ・重袋の加工製造 (農産物、酪農、産業用)

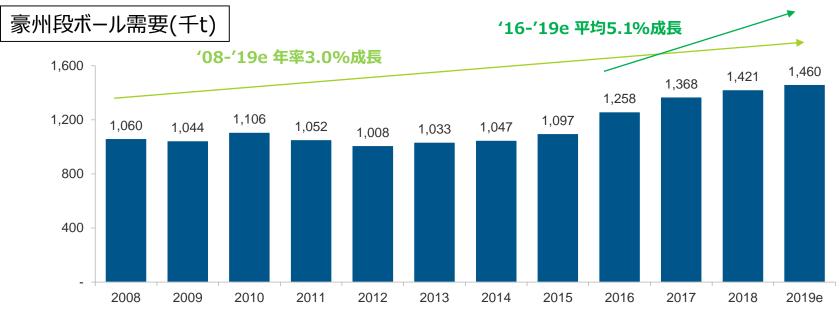
製紙・パッケージ事業のサプライチェーン

独自の古紙回収システムから段ボールまでの一貫工程 当社子会社(AP社)は既にサプライチェーンの一部



(参考)豪州段ボール市場

底堅い国内需要・最終製品(青果物・食肉加工品)の輸出が需要を牽引



豪州段ボール - 用途別需要トレンドと見通し(千t)

(BIS Oxford Economicsより当社作成)

	'11	'16	'17	'18	'19e	年平均成長率 '16-'19e	需要 見通
青果	177	235	255	265	275	5.4%	
肉類・魚類	121	140	155	165	170	6.7%	
乳製品	35	45	50	55	55	6.9%	
飲料	196	205	225	235	240	5.4%	
工業品	43	45	45	50	50	3.6%	\leftrightarrow
その他	480	588	638	651	670	4.4%	
合計 (PIC O food Food	1,052	1,258	1,368	1,421	1,460	5.1%	

(BIS Oxford Economicsより当社作成、需要見通しはMacuarie Capitalによる分析に基づく)

<注意事項>

当資料に記載されている見通しに関する内容については、種々の前提に 基づいたものであり、記載された将来の計画数値、施策の実現を確約し たり、保証するものではありません。

日本製紙株式会社